

第3回アジア太平洋ろう青年キャンプ

速報3号

2006年10月31日(火)~11月5日(日) 宮崎県(日本)

発行責任者：実行委員会・速報部
発行日：

日本文化の
あれやこれ

体験できるのは
どれかな～??

盆(ぼん)

旧暦の7月15日を中心に行われる先祖供養の儀式で、先祖の霊があゝの世から現世に戻ってきて、再びあゝの世に帰っていくという日本古来の信仰と仏教が結びついてできた行事です。

多くの地方で8月13日の「迎え盆」から16日の「送り盆」までの4日間をお盆としています。地方によっては7月一杯をお盆とする地域や旧暦通り7月15日を中心に行う地域などがあります。

茶道(さどう)



茶道とは、伝統的な様式にのっとりて客人に抹茶をふるまう事で、茶の湯とも言います。

もともとは唐の時代に中国から伝わってきたといわれ、のちに千利休によって形式化され、現在の茶道の作法にも受け継がれています。

書道(しょどう)



書道とは、日本古来の筆記用具である、毛筆と墨を用いて、漢字や仮名文字を芸術的に表現する日本の伝統芸術の一つです。

盆踊り(ぼんおどり)

元々は仏教に由来し、精霊を迎え死者を供養する、と言う意味を込めて行なったもの。

現在はこのような宗教的意識は薄れ、民衆の娯楽として定着している。

空手(からて)

もともとは中国から伝えられたものであるが、沖縄の武術・琉球空手をベースに様々な解釈がなされ、現在も様々な流派や道場が誕生しています。

浴衣(ゆかた)

着物が普段着であった昔の人にとって浴衣はお風呂上りに着る、室内着でした。
現在では室内着ではなく、夏に着る着物として祭りなどでみかけるようになりました。

剣道(けんどう)

戦国時代、侍にとって剣はまさに魂そのものでした。
侍の魂である剣術の教えを現在も引き継いでいるのが剣道です。
侍を思わせるその姿は今も親しまれています。



折り紙(おりがみ)

折り紙は日本独自の遊びで、一枚の紙を折ることで様々な形を作りあげて楽しむ遊びです。

千年ほど前、紙は高級品であり、当時の貴族の間ではその紙を使って贈り物をいかに美しく包装するかが流行し、現在の折り紙の原点になりました。



柔道(じゅうどう)

もとは柔術でありましたが、嘉納治五郎によって改良され、現在の『柔道』が生まれました。

精神を鍛えるという考え方をもちた嘉納の柔道は大衆に受け入れられ、発展し現在はオリンピック種目になるほど世界中に広がっています。

